

第139号

TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE ALUMNI ASSOCIATION NEWS

東京農業大学 校友会ニュース

〔発行〕東京農業大学校友会
〒156-8502
東京都世田谷区桜丘1-1-1
東京農業大学 国際センター 3F
電話 03-5477-2711 FAX03-5477-2490
〔編集発行人〕
校友会会長 萬歳 章
東京農業大学校友会ホームページ
https://www.nodai-koyukai.jp

活動活性化へ思い結集

青年部設立／SNSで若手参画

東京農大校友会は2月20日、世田谷キャンパスで、「令和7年度東京農業大学校友会全国支部長会議」を開いた。全国のブロック代表者らが東京農大入学者希望者への支援、スポーツ応援やイベントへの参加、青年部設立など1年間活動を報告した。メンバーの高齢化などの課題について、若者や女性の参画へ校友会、大学と一体となって取り組むことを確認した。



全国支部長会議 5ブロックが報告

会議には校友会の萬歳 章会長や各支部長、江口 文陽学長ら65人が参加した。萬歳会長はあいさつで、各支部が実施した講演会、スポーツ応援など、多岐にわたる活動に謝意を述べた。

江口学長は「箱根駅伝や全国女子駅伝など、校友会の熱い応援が選手の大きな力になっている」と述べた。

長崎県支部 田添弘支部長

あいさつする 萬歳会長

新潟県支部 木村支部長

青森県支部 大谷支部長

鳥取県支部 山根支部長

富山県支部 石坂支部長

宮城県支部 峯岸支部長

鹿児島県支部 宮原支部長

宮城県支部 峯岸支部長

児島県・宮原俊郎支部長がそれぞれ報告した。日本酒の試飲会、東京農大入学者希望者への支援、箱根駅伝の応援など各ブロックの多様な活動を共有した。

支部活動では宮城県支部の峯岸孝浩支部長が、青年部会の設立や学生支援活動の拡充などの活動を報告。さらに、全日本大学女子駅伝の応援や宮城県出身・時疾風関の激励会への参加なども紹介した。

全体討議では「校友会活動の成果と課題」について意見を交わした。成果としてLINEを活用した情報共有の効率化や、青年部の設立、女性部会を通じた進学相談などを挙げた。一方、人材不足や若手、女性の参画、世代交代が進まないといった課題もあり、事務局が若手、女性の活動促進に向けた助成制度などを紹介した。

来年につながるたすき 箱根駅伝 農大18位

第102回箱根駅伝が1月2、3日に開かれ、東京農大は18位とシンド権は逃したもののタイムは東京農大記録を更新、若い選手が躍動し来年につながる大会となった。2年ぶりの出場となった。

今年度は、1万円の日本学生最高記録を持つ前田和摩選手(経3)が初めてエース区間の2区を

走るなど、各選手がそれぞれの持ち味を發揮したが、目標としていたシンド権獲得には至らなかった。しかし、2年前の第100回大会に比べタイム

は着実に向上。全10区間のうち6区間で東京農大記録を塗り替え、繰り上げスタートになることな

は着実に向上。全10区間のうち6区間で東京農大記録を塗り替え、繰り上げスタートになることな



箱根路を駆け抜けた(上から)2区・前田和摩(中央)、3区・原田洋輔(前から3人目)、10区・井坂光の各選手

箱根One Coin募金

陸上競技部男子長距離ブロック選手のさらなる強化に向けて募金を募集しています。

名を掲 芳名に 協力者 8、9面

新たな歩みの春

入学式

令和8年度入学式は、世田谷キャンパスで4月2日、厚木キャンパスで



江口学長は式辞で、地球規模の課題に向き合う総合農学の重要性を説き、実学主義のもと失敗を恐れず挑戦し、主体的に学び成長する姿勢の重要性を強調した。新入生を代表して、片岡末菜海さん(造園科学科)、岩井向日葵さん(デザイン農学科)、大野幹さん(自然資源経営学科)が宣誓を行った。



学位記授与式

令和7年度学位記授与式が、北海道オホーツクキャンパスでは3月17日、世田谷キャンパスでは3月20日、厚木キャンパスでは翌21日に挙行され、修了生・卒業生3329人に学位記が授与された。

修了生・卒業生を代表して居馬颯汰さん(自然資源経営学科)、室井彩菜さん(バイオサイエンス学科)、北澤月海さん(森林総合科学科)、軍地皓斗さん(農学科)が答辞を述べた。

江口文陽学長は告辞で「東京農大で学び習得した知識や技術を、社会に

オホーツクキャンパスで行われた学位記授与

東京農大経営者フォーラム2025 経営者大賞5氏・経営者賞2氏表彰



経営者大賞・経営者賞を受賞した皆さん

東京農大は令和7年11月28日、世田谷キャンパスの国際センター・榎本ホールで、「東京農大経営者フォーラム2025」を開いた。本フォーラムは総合農学および関連産業、地域経済の担い手として国内外で活躍する卒業生を顕彰するとともに、学生教育や卒業生の活躍を広く社会に発信することを目的として開催している。

東京農大校友会、東京農大教育後援会、東京農大経営者会議(株農大サポート)、東京農大発(株)メルカードが後援。対面とオンラインのハイブリッドで実施した。会場には学生や来賓、経営者会議会員ら約200人が参加した。

経営者大賞には(株)昭立造園代表取締役社長の阿部晋也氏(平13道・東京都)、(有)内田農場代表取締役の内田智也氏(平19農・熊本県)、穀盛股份有限公司総経理の中許恒銘氏(昭56釀・台湾)、(株)堀内果実園代表取締役の

地域経済支え広く活躍

堀内俊孝氏(平5短農・奈良県)、黒龍酒造(株)代表取締役の水野直人氏(昭63釀・福井県)の5氏が受賞した。

経営者賞には、小原農園代表の小原英行氏(平13経・東京都)と菅蒲谷牧場代表の山川忠一郎氏(平20畜・岐阜県)が選ばれた。表彰式では江口文陽学長が賞状を手渡した。経営者大賞を受賞した5氏はそれぞれ記念講演を行い、自身の経験に基づき、経営への思いや後進へのメッセージを語った。

人事異動

【令和8年4月1日】

母校だより

(順不同、敬称略)

- ▼教授採用
 - 応用生物科学部食品安全健康学科
 - 地域環境科学部森林総合科学科
 - 地域環境科学部造園科学科
 - 国際食料情報学部国際農業開発学
 - 国際食料情報学部国際農業開発学
 - 教職・学術情報課程教職課程
- ▼教授昇格
 - 農学部動物科学科
 - 応用生物科学部醸造科学科
 - 応用生物科学部栄養科学科
 - 地域環境科学部生産環境工学科

- 鈴木 香
- 亀井 一郎
- 楠本 良延
- 鬼木 俊次
- 中村麻衣子
- 小林 朋子
- 本間 裕人
- 若菜 宣明
- トウナロン

- 地域環境科学部生産環境工学科
- 国際食料情報学部国際農業開発学
- 国際食料情報学部食料環境経済学
- 国際食料情報学部アグリビジネス学
- ▼定年退職
 - 応用生物科学部
 - 生命科学部バイオサイエンス学科
 - 国際食料情報学部国際農業開発学
 - 国際食料情報学部食料環境経済学
 - 生物産業学部北方圏農学
- ▼職員異動
 - 《法人》
 - 常務理事
 - 《大学》
 - 事務局担当部長・グローバル連携センター
 - 事務部長事務取扱
 - 研究・産学官地域連携推進部長
 - 事務局担当部長・図書館事務部長事務取扱

- 中島 亨
- 入江 満美
- 藤森 裕美
- 山田 崇裕
- 寺本 明子
- 千葉 櫻
- 志和 地弘
- 菅沼 圭輔
- 吉田 穂積
- 鈴木 聡志
- 小林 順
- 岩井 慎一
- 中村 治彦
- 三浦 敦

令和7年度 親子三代表彰受賞者 (敬称略・順不同)

代	氏名	卒年	学部	学科	住所
1	野尻 千秋	昭39	農学部	農学科	(物故者)
2	野尻 勇	平3	農学部	農学科	熊本県
3	野尻 尚志	平30	国際食料情報学部	国際農業開発学科	熊本県
	青木 真理子(野尻)	令5	農学部	農学科	静岡県
3	青木 映瑠	令5	農学部	デザイン農学科	静岡県
	1 鍵和田 傳	昭41	農学部	醸造学科	(物故者)
2	武田 明子(鍵和田)	平6	農学部	造園学科	兵庫県
	鍵和田 又一	平16	大学院	造園学専攻博士前期課程	大分県
3	武田 明穂	令6	応用生物科学部	醸造科学科	兵庫県
1	本多 宗勝	昭42	農学部	農学科	石川県
2	本多 裕	平10	農学部	農業経済学科	石川県
3	本多 青空	令6	国際食料情報学部	食料環境経済学科	神奈川県
1	堀江 康輔	昭43	農学部	林学科	島根県
2	堀江 俊輔	平7	農学部	林学科	島根県
3	堀江 倫子	令7	農学部	デザイン農学科	神奈川県
1	深澤 邦治	昭43	農学部	造園学科	静岡県
2	深澤 礎	平7	農学部	造園学科	静岡県
	深澤 徳彦	平11	農学部	造園学科	静岡県
3	杉山 和志	令7	地域環境科学部	森林総合科学科	静岡県
1	小滝 邦夫	昭51	農学部	農学科	石川県
2	小滝 理恵(中島)	平14	農学部	農学科	石川県
	小滝 敦志	平15	国際食料情報学部	国際農業開発学科	石川県
3	小滝 一志	平15	農学部	農学科	千葉県
	小滝 夏生	令7	農学部	デザイン農学科	石川県

親子三代表彰は平成13年に開かれた第1回ホームカミングデーを契機に始まり、25年にわたりに行われてきた。7年度も含め、これまでに109組が表彰されている。

初代が東京農大で学び、恩師や友人と築いた絆は母校への深い愛着と

事例発表では自治体関係者から東京農大との連携による取り組みが紹介された

受け継ぐ学び舎 6組をたたえる

親子三代表彰



親子三代表彰者を受賞した皆さん

なり、卒業後も途切れることなく、子から孫へと受け継がれてきた。ご夫婦ごろつて、また、兄弟姉妹で東京農大に学ぶ家族も多く、世代を超えて母校とのつながりが続いている。

産学官・地域連携の成果共有

東京農大は2月27日、世田谷キャンパス・サイエンスポーツで「2025年度東京農大HUB産学官・地域連携意見交流会」を開催した。写真。

5年度東京農大HUB産学官・地域連携意見交流会を開催した。写真。

携の成果と課題、今後の展望について共有した。第1部のポスターセッションでは、本学教員と協定先が共同研究や人材育成、地域振興の事例を紹介した。来場者は各ブースで説明に耳を傾け、具体的な連携内容や発展可能性について活発に意見を交わした。第2部で行われた事例発表では、地域資源を生かした取り組みや学生との協働事例が報告された。

東京農大 産学官・地域連携 活動基金への寄付募集 ご案内

産学官・地域連携活動を通じて、学生は地域との交流やフィールドにおける教育・研究活動により実践的な経験を積み、キャリア形成に役立てています。

この活動を支援するため、このたび「東京農業大学産学官・地域連携活動基金」を創設いたしました。学生が地域の現場で実践的に学ぶ機会を充実させ、将来地域社会で活躍できる人材を育成する活動基盤を強化するため、広く活動基金への寄付を募集しています。



募集金額

- 個人：10万円以上
- 企業・団体：103万円以上

寄付方法

- ①銀行振込(ゆうちょ銀行含む)
- ②募金HPからクレジットカード

※募金の詳細および寄付方法は左記のQRコードから

問い合わせ窓口 東京農業大学 産学官・地域連携センター 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 (E-mail) crenkei@nodai.ac.jp Tel: 03-5477-2562 Fax: 03-5477-2634

空手部 100周年へ新たな一歩

創部90周年記念式典・祝賀会



100周年への決意を新たにした参加者

戦後の困難を乗り越えてきた先人の尽力に感謝を表明した。併せて、創部100周年を見据えた、10年間の基本構想「ドリームプラン」を紹介し、全日本大学選手権優勝などの目標を掲げて、OB会一体で支援していく決意を述べた。

来賓として江口文陽学長がビデオメッセージで「空手部が築いてきた90年の伝統と実績は大学の誇り。今後も世界に通用する人材育成に期待したい」と祝辞を寄せた。東京農大校友会の萬歳章会長は「技を磨くとともに心を養う空手道の精神は、本学の教育理念と深く通じる。100周年に向けたさらなる発展を願う」と述べた。

空手部長の大久保研治教授は「多くの支援を力に、学生が競技だけでなく人として成長できる部を築きたい」と述べ、山崎博監督は「全日本優勝を目標に、日々の稽古と挑戦を積み重ねていく」と決意を語った。

現役部員、保護者、関係者ら約70人が出席した。式典冒頭、令和7年12月2日に急逝した野崎宏氏(昭61拓)を悼み、黙とうが捧げられた。

主権者を代表して、緑空会会長の林晃氏(昭58林)があいさつし、昭和10年の創部以来、戦前・

東京農大農友会空手部の創部90周年記念式典・祝賀会が令和7年12月6日、世田谷キャンパス・ドリームプランを紹介する緑空会の林会長



式辞で70年の歴史と未来への展望を語る小塩学科長



式典には海外支部を含む多くの卒業生が集まった

国際農業開発学科70周年 世界貢献の軌跡紹介

令和7年11月1日、東京農大国際農業開発学科は創設70周年記念式典を挙行了。学科の歴史的変遷と社会貢献が詳しく紹介され、戦前の専門部拓殖科から現在に至る軌跡が語られた。

小塩海平学科長は、昭和12年の創設以来、植民地経営から国際農業開発へと進化してきた学科の歴史を振り返り、「農業を学ぶことは人類の歴史そのものを学ぶこと」と強調。現在では、世界各国の留学生が学んでいることを紹介した。江口文陽学長はグローバル化と持続可能な農業の重要性を訴え、32カ国44大学と協定を結ぶ国際的なネットワークを誇った。

校友会の萬歳章会長は、戦後復興期からの国際農業開発の精神を称え、学科の歩みを「未来への羅針盤」とし、気候変動や食料安全保障、貧困問題の解決に向けた卒業生の貢献を高く評価した。式典は、海外支部を含む多数の卒業生が参列。特に満州での学徒出陣を経験した村尾孝氏(昭23専農)の証言は、学科の苦難の歴史と、困難を乗り越えてきた精神を象徴するものとなった。

世田谷キャンパス	10月30日(金)~11月1日(日)
厚木キャンパス	10月31日(土)、11月1日(日)
北海道オホーツクキャンパス	10月11日(日)、12日(月)

世田谷キャンパス内	10月31日(土)
-----------	-----------

※詳細が決まり次第、東京農大ホームページでご案内します。

世田谷キャンパス	6月14日(日) 8月1日(土)、8月2日(日)
厚木キャンパス	5月23日(土)、5月24日(日) 8月1日(土)、8月2日(日)
北海道オホーツクキャンパス	6月20日(土)、7月19日(日) 7月25日(土)、8月22日(土) 令和9年3月20日(土)

※詳細は東京農大ホームページでご確認ください。

企画展
東京農業大学「食と農」の博物館
猫のすゝめ
2026.4.24(金)~8.30(日)



ネコの名前…チャイ⑤、ラテ飼主…ふーちゃん

企画展示
「猫×農学研究」
今から約1万年前の新石器時代。人類は食料を安定的に手に入れるために「農業」を始めた。そしてこの時、収穫した穀物をネズミから守る「猫」と人類のおつきあいが始まりました。

ネコの名前…めい飼主…大貫

食と農の博物館だより

魅力的な動物であると同時に、自然環境への影響が問題視されている面もあります。本企画展は「猫×農学研究」をテーマに猫にまつわるさまざまな側面を紹介いたします。

【主催】東京農業大学「食と農」の博物館

【会期】令和8年4月24日(金)~令和8年8月30日(日)

【休館日】月曜日、祝日(5月3日は開館)、大学が定めた日

【入場料】無料

【場所】東京農業大学「食と農」の博物館1階企画展示室

【展示構成】
○猫のきほん 分類・体の特徴・しぐさ
○野生のネコ
○農業と猫
○農大&世界のおもしろ猫研究
○こんなところにも猫! 南極に行った三毛猫「たけし」
○絵の中の猫
○希少なネコ科動物を守れ

○猫とこれから
【関連イベント】
※各種イベントについての詳細はQRコードから。

定年を迎えた先生

寺本 明子 教授

非常勤講師から始まり21年間、東京農大で充実した日々を送らせていただきました。応用生物科学部の英語科目の授業を担当する他に、学内トピックやイングリッシュ・カフェの運営、世界学生フォーラム組織委員会委員、国際インターシッブ希望者の面接、台湾・中国からの短期留学生への日本文化紹介など、多くの経験をさせていただきました。学生時代の専攻科目である英語が、後にこのようにいろいろな形で生かせるのは想像もつきませんでした。たくさんのチャンス頂きましてありがとうございました。

また、さまざまな素敵な出会いから校友の皆さまとの縁が広がり、光栄に存じております。平成28年に日本で開かれた東京農業大学校友世界大会も貴重な思い出でございます。副部長を務めておりました農友会マンドリン部の学生が百周年記念講堂で歓迎の演奏をさせていただきました。そして、私も明治記念館での祝賀会に出席させていただきました。夫の転勤でブラジル・サンパウロに住んでいたことがあり

ますので、ブラジル支部の皆さまとお話したいしました。世界中から集まってきた皆さまの母校に対する熱い思いに触れ、感動いたしました。東京農業大学は、私にとりましても、教員として成長させてくださった大切な「母校」でございます。心より感謝申し上げます。

学科の立ち上げと運営、さらにバイオサイエンス専攻の創設と運営に尽力されました。また、安全委員長として長く務められました。研究活動では、哺乳動物細胞の増殖制御とがん化に関わる制御機構解析、がんの治療・予防に向けた応用研究を展開されてきました。特に、細胞増殖制御因子サイクリンAと複製開始因子との相互作用、がん抑制因子p27の機能抑制機構、ヘム代謝の活性化による腫瘍増殖の抑制など、多くの重要な発見をなされ、基礎から応用にわたる幅広い分野で貢献されております。

また、さまざまな素敵な出会いから校友の皆さまとの縁が広がり、光栄に存じております。平成28年に日本で開かれた東京農業大学校友世界大会も貴重な思い出でございます。副部長を務めておりました農友会マンドリン部の学生が百周年記念講堂で歓迎の演奏をさせていただきました。そして、私も明治記念館での祝賀会に出席させていただきました。夫の転勤でブラジル・サンパウロに住んでいたことがあり

業学会会長、海外農業教育・研究開発協会常務理事、事務局長などの要職を務められました。研究面では、29年に日本熱帯農業学会学術賞を受賞した「熱帯産ヤマイモ (Dioscorea sp.) の生産性の改善に関する研究」、またその研究成果を生かした途上国の農業開発が顕著な業績として挙げられます。要約すると以下の通りです。

1. ヤマイモの窒素固定能力の発見と解明 最も画期的な成果は、ヤマイモが空気中の窒素を取り込む「窒素固定」を行うことを明らかにした点であり、肥料の乏しい痩せた土地でもヤマイモが育つメカニズムを調査し、ヤマイモの内部に共生する窒素固定エンドファイト(内生細菌)を世界で初めて発見・分離。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

員などを歴任されました。また、色覚異常や心の発達に関する各種講演もされています。

授業においては、ロールプレイングや傾聴を重視した実践的な心理学の応用を指導され、学生からの授業評価も非常に高い実績があります。誰に対しても公平で、常に思いやりと丁寧なお姿は、教職を志す学生のみならず他教員にとっても模範となるものでした。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

員などを歴任されました。また、色覚異常や心の発達に関する各種講演もされています。

授業においては、ロールプレイングや傾聴を重視した実践的な心理学の応用を指導され、学生からの授業評価も非常に高い実績があります。誰に対しても公平で、常に思いやりと丁寧なお姿は、教職を志す学生のみならず他教員にとっても模範となるものでした。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

員などを歴任されました。また、色覚異常や心の発達に関する各種講演もされています。

授業においては、ロールプレイングや傾聴を重視した実践的な心理学の応用を指導され、学生からの授業評価も非常に高い実績があります。誰に対しても公平で、常に思いやりと丁寧なお姿は、教職を志す学生のみならず他教員にとっても模範となるものでした。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

員などを歴任されました。また、色覚異常や心の発達に関する各種講演もされています。

授業においては、ロールプレイングや傾聴を重視した実践的な心理学の応用を指導され、学生からの授業評価も非常に高い実績があります。誰に対しても公平で、常に思いやりと丁寧なお姿は、教職を志す学生のみならず他教員にとっても模範となるものでした。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

員などを歴任されました。また、色覚異常や心の発達に関する各種講演もされています。

授業においては、ロールプレイングや傾聴を重視した実践的な心理学の応用を指導され、学生からの授業評価も非常に高い実績があります。誰に対しても公平で、常に思いやりと丁寧なお姿は、教職を志す学生のみならず他教員にとっても模範となるものでした。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

員などを歴任されました。また、色覚異常や心の発達に関する各種講演もされています。

授業においては、ロールプレイングや傾聴を重視した実践的な心理学の応用を指導され、学生からの授業評価も非常に高い実績があります。誰に対しても公平で、常に思いやりと丁寧なお姿は、教職を志す学生のみならず他教員にとっても模範となるものでした。

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

おいしいまち網走のふるさと納税

東京農業大学北海道オホーツクキャンパスが立地する網走市は、豊かな海の恵みをもたらす、世界三大漁場に属するオホーツク海に面し、豊稔の恵みをもたらす、知床半島を望む肥沃な大地が広がっています。ふるさと納税では、網走の「おいしい」お礼の品々をご用意しています。

網走市ふるさと納税では、寄附金の使い道をご指定いただけます。「東京農業大学北海道オホーツクキャンパスの充実」を設定

令和7年度の「網走市ふるさと納税」における上記使い道に対し**1年間で6,900万円を超えるご支援**を頂戴しました！

海産物、アイス、ビール、お肉などのほかに東京農業大学北海道オホーツクキャンパスの授業料等に利用可能な**クーポン券**を返礼品としてご用意

注)北海道オホーツクキャンパスに在籍している学生対象。世田谷・厚木キャンパスに在籍の方には適用されません。

あばしり **網走** のふるさと納税

お問い合わせ先 網走市 商工労働課 千093-8555 北海道網走市南5条東1丁目10番地 TEL. 0152-61-6000 ※9:00~17:30(土日祝、12/29~1/3を除く)

網走市ふるさと納税 検索

吉田 穂積 教授

大阪府出身。平成元年に東北大学大学院農学研究所農学専攻博士後期課程に入學、3年に前期課程を中退し、東京農大副手(有給)として網走寒地農場に着任されました。4年に助手、6年に講師、12年に助教授に昇格され、この間に東北大学で博士(農学)の学位を取得されました。16年からは生物産産学部の生物生産学専攻に異動、同年に教授に昇格し、学科長、学部長、学部長、研究科委員長などの学部長要職を歴任されました。

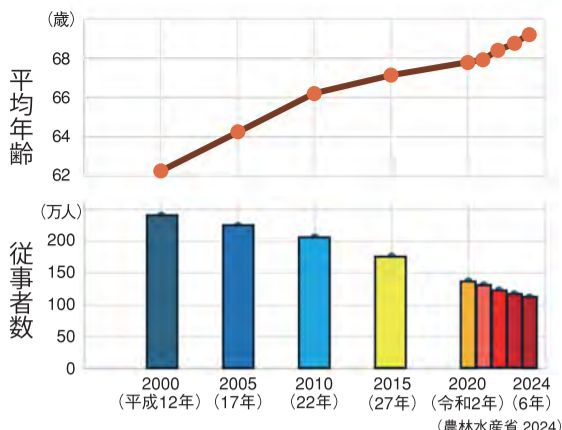
また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

鈴木 聡志 准教授

秋田県出身。昭和58年、筑波大学第二学群人間学類卒業後、筑波大学大学院心理学研究科博士課程に進学。昭和62年に筑波大学学校教育部技官、平成2年に豊田短期大学人間関係学専攻講師、8年に松蔭女子短期大学英語科助教授などを歴任されました。9年、東京農大農

また、海外ではモンゴル、ベトナム、サハリン、ウクライナの調査・試験にも関わってこられました。加えて能取湖のサンゴ草群落再生を通じ、網走市の観光振興にも大きく貢献されました。時間の許す限り圃場(ほじょう)に出ておられるため、いつも日焼けされているのが印象的でした。令和8年度からは嘱託

(図1) 基幹的農業従事者の平均年齢と数



米をめぐるのは、令和6年から7年にかけて歴史的な販売価格の上昇が大きな関心を集めた。米生産の将来を考えるうえで本場に重要なのは、価格の一时的な変動だけではない。生産現場では、担い手の減少と高齢化が進み、さらに高温による品質低下の懸念、肥料・燃料・資材価格の上昇などが重なっている。

技能をデータ化 品質・収量安定化

農林水産省(2024)の統計によれば、基幹的農業従事者は平成12年の240万人から令和6年には111・4万人(推定値)へと約20年間で半減し、平均年齢は69・2歳に達している(図1)。加えて、経営規模の拡大や作業の複雑化が進む中、従来の経験と人手に依存した生産方



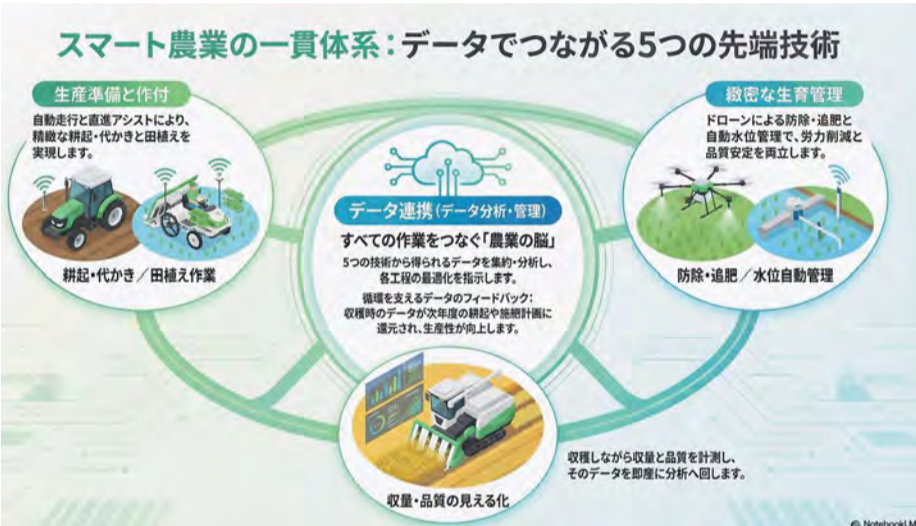
式だけで安定的に米を作り続けることは、ますます難しくなっている。こうした状況下で、米生産の持続可能性を支える手段として期待されているのが「スマート農業」である。スマート農業とは、

持続可能性を支える「スマート農業」

生産環境工学科 教授 島田 沢彦

作業を担えるようにすること、第三に、データに基づく管理によって収量や品質の安定化を図ることにある。特に水稲を含む土地利用型農業では、作業時間の削減や負担軽減が大きな導入効果とし

て期待される。ドローンによる農薬などの散布面積は令和5年度に109・7万畝まで拡大しており、ロボットトラクタ、水管理システム、営農管理システム、センシングに基づく可変施肥・防除など



(図2) スマート農業による農業技術一貫体系(生成AI作図)

が各地で展開されている(図2、農林水産省2024)。
担い手不足深刻 法律整備し推進
政府は令和6年に「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用促進に関する法律」を施行し、水田作をはじめ、畑作、野菜作、果樹・茶作、畜産・酪農などの営農類型ごとに、省力化または高度化の必要性が特に高いと認められるスマート農業技術を「開発供給事業の促進の目標」として明示し、

これらを令和12年度までに実用化することを目指している。例えば水田作では「ドローンによる直播等の育苗又は田植作業技術や」「自律走行型除草機や自動水位管理等による抑草等の除草作業」技術により労働時間を80%削減する目標が掲げられている。人手不足の深刻化、技術継承の停滞、高齢化に伴う軽労化ニーズの高まりを背景に、日本の米生産において、スマート農業の導入意義はきわめて大きい。省力化や作業精度の向

上、データに基づく栽培管理の高度化など、その効果は多方面に及ぶ。

人材育成を通じて 技術発展に貢献

一方で、スマート農業は必ずしも生産者だけが最大のメリットを享受する仕組みではない。むしろ、IT企業や農業機械メーカー、関連サービス事業者にとって新たな利益機会を生み出す農業体系となり得る。また、こうした転換を後押しするうえで、政府による補助制度の役割も極めて大きい。

だからこそ、現在の厳しい状況にある日本農業にとって、スマート農業への移行は単なる技術導入にとどまらず、農業全体の構造転換を促す重要な契機といえる。その成否は、農業のみならず、食品流通業、製造業、IT、AIといった関連産業を含めた日本全体の競争力にもかかわる大きな分岐点となり得る。農業分野で多くの人材を輩出してきた東京農大には、こうした変革の一端を担う研究体制の充実と、さらに革新的な発想を持つ人材の育成を通じて日本の農業技術の発展に貢献していくことが期待されている。

東日本支援プロジェクト



復興へ「相馬里醬」開発

津波被災農地産の大豆を活用した醤油

アグリビジネス学科 教授 半杭 真一
学生が現地でも学び ラベルなどを考案

東日本大震災から15年が経過した。私も東京農大東日本支援プロジェクトが活動している福島県相馬市は、地震と津波の影響を大きく受けた地域である。今般、本プロジェクトで復旧させた農地で生産された大豆を原料とした醤油「相馬里醬(そうまりしよ)」が完成したので、ここに報告させていただく。

農地の復旧は着々 大豆商品化を模索

相馬市における東日本大震災の被害は、死者数は458人、住宅の被害は5848棟、波高9・3メートルを観測した津波による被災水田の面積は1102畝に及び、これは当時の相馬市全体の水田面積の41%を占める。これら津波被災農地では、農地の復旧と併せて、農業法人の設立も推進され、復興が進んできたところである。

こうした津波被災農地において設立された農業法人は、米、麦、大豆を中心とした土地利型作物の大規模経営を展開してきた。そして生産された大豆を活用した商品化が模索されることとなったのである。

東京農大の東日本支援プロジェクトでは、合同会社飯豊ファーム(大豆生産者)、JAFふくしま未来(大豆の集荷と等級検査)、武陽食品株式会社(大豆の流通・販売)、合資会社山形屋商店(麹・味噌・醤油の製造)、相馬市役所産業界農林水産課、東京農大からなる「地元産大豆活用意見交換会」を令和6年1月から

開催して議論を重ねてきた。構成員である合資会社山形屋商店は、麹・味噌・醤油を製造販売しており、とくに、醤油の製造にかかる技術水準は全国醤油品評会において最高賞である農林水産大臣賞を8回受賞するという高い技術をもつ。その山形屋商店において、地元産の大豆を原料としたいという意向があることが、商品づくりのコンセプトの核となった。試験醸造の結果、非常においしい生醤油ができることも明らかとなった。



完成した「相馬里醬」を披露する開発関係者と学生



「相馬里醬」

東京農大マーケティング研究室の首都圏での消費者リサーチを通じて、相馬という産地と農林水産大臣賞の受賞歴が消費段階での評価を高めることも分かり、学生有志が実際に相馬を訪れ、土地への学びを深めながらネーミングとラベルのデザインを考案した。デザインコンペを経て採用されたのが「相馬里醬」である。相馬で作られた大豆を原料とすること、その品種「里のほほえみ」が名前に込められている。お披露目は東京農大の収穫祭に合わせ、「食と農」の博物館で行った。相馬市やその近郊の直売施設のほか、福島県のアンテナショップである日本橋ふくしま館MIDETTEでもお求めいただける。ぜひご賞味いただきたい。

Campus now

地域と一体、3会場で盛大に収穫祭

令和7年10月31日〜11月2日の3日間... 世田谷キャンパスで創立134年東京農業大学収穫祭が開催された。今年度は「才農開花」見た。

世田谷

て、感じて、豊作の彩」というテーマを掲げ、7万人以上が来場した。コロナ禍以前の活気を目指して準備を重ね、多くの来場者でにぎわった。73団体の模

厚木キャンパスの収穫祭は11月1日、2日に開催され約1万8000人が来場した。「実りを夢見て 今、花ひらく」をテーマに、1年間の学びと挑戦の成果が開花し、共

厚木

に未来への希望を分かち合うことを表現した。体験企画として農大名物「野菜配布」をはじめ、「親子限定ダイコン収穫」「葉脈標本のしおり作り」「クリス

北海道オホーツクキャンパスでは10月12日、13日、第37回収穫祭が開催された。今年の統一テーマは「集彩」。収穫という秋の彩り、人縁が広

オホーツク

がる彩り、地域の文化・歴史の彩りなど、さまざまな彩りで収穫祭を表現した。校友や網走市近隣市町村から、約5700人が来場した。研究室、農友会、同好会の



擬店・即売店が軒を連ね、1号館では文化芸術展が開催され、各会場ともにぎわった。ステージ企画では全学応援団リーダー公開や演奏会などが行われ、文化芸術展には研究室や農友会、同好会など35団体が出演して日頃の成果を発表。模擬店・即売店では42団体が出店した。



マスの飾り作り」などが行われ、各会場ともにぎわった。ステージ企画では全学応援団リーダー公開や演奏会などが行われ、文化芸術展には研究室や農友会、同好会など35団体が出演して日頃の成果を発表。模擬店・即売店では42団体が出店した。



22団体が出演した文化芸術展では、スタンプリリーを実施。39団体が出店した模擬店・即売店では、エソシカバーガーなど網走産食材を使用した食品を提供した。オホーツクキャンパス収穫祭の特徴でもある農大マルシェには29団体が出店。本学学生スタッフと市民が一体で販売などを行い、オホーツクの農畜産物や海産物などの魅力がいっぱい詰まった地域に密着したイベントとなった。今年度の収穫祭は10月11日、12日の2日間で開催する予定。

2027年度 東京農業大学の主な総合型選抜・学校推薦型選抜

Table with 8 columns: 入学者選抜制度, 出願期間, 出願資格(注), 選抜方法, 試験日, 試験会場, 合格発表, 入学手続期間. It lists various admission programs like '総合型選抜 全学部', '総合型選抜 高校で学んだ実践スキル', '総合型選抜 東京農大ファミリー', '総合型選抜 生物産業学部(併願方式)', '学校推薦型選抜 公募制', and '総合型選抜 生物産業学部'.

(注) 出願資格は一部抜粋して掲載。詳細は募集要項を確認してください。【お問い合わせ】東京農業大学 入学センター 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 TEL: 03-5477-2226/FAX: 03-5477-2615

ベストムアツプ 49

堀内果実園 代表取締役

堀内 俊孝氏

(平成5年短期大学部農業科卒)

奈良県の(株)堀内果実園代表取締役・堀内俊孝さんは、可能性と魅力ある農業を追い求めて果実の6次化に挑戦、多くの商品を開発・販売しています。オンラインショップの他、東京にも店舗を構え、「継ぎたい」と思える農業を」という使命を胸に日々努力しています。

私が東京農業大学短期大学部農業科へ進学したのは、将来、農業を自らの仕事として地域に根差して生きていきたいという目的があったからです。自然と向き合い、作物を育てるだけでなく、農業を産業として成り立たせるための知識と技術を学びたいと考え、東京農大を志しました。学生時代は、ほ場実習や現場中心の授業を通じて、作物の生育だけでなく、コストや労力、流通まで含めて考える農業の奥深さを学びました。卒業後の平成5年、私は家業である堀内農園に就農しました。創業は明治36年で、私で6代目となります。柿を中心とした果樹栽培で長い歴史を刻んできた農園でしたが、地域では人口減少や高齢化が進み、従来の生産中心の農業だけでは将来が描きにくい状況にありました。

6次産業化への挑戦
そこで取り組んだのが、6次産業化による事業構造の転換です。平成25年に(株)堀内果実園を設立し、生産・加工・販売を一体で行う体制を整えました。



中がとろりとした食感が特徴のあんぽ柿



堀内果実園・東京スカイツリーソラマチ店

地域と未来 果実でつなぐ

就農当初から私は、従来の柿を中心とした果樹生産に留まらない、農業の多角化と高付加価値化という未来志向の経営が不可欠だと考えていま

ました。自社や提携農家で育てた果実を、自社加工場で無添加・手作業を基本に加工し、あんぽ柿やドライフルーツ、ジャムなどの商品としてお客さまに届けています。

規格外果実も積極的に活用し、食品ロスを減らしながら果物本来の味を最大限に引き

出すことを大切にしてきました。加工過程は多くを機械化せず、手作業にこだわりの熟練したスタッフが、果物の状態を目で見て、触って判断し、最適な方法で加工していま

す。堀内果実園では、夫婦連携による分業体制で事業を行っています。

私は生産・加工・EC販売(自社オンラインショップによる直販)を中心としたものづくりを担い、妻は直営カフェ事業を統括。「くだものを

楽しむお店」というコンセプトのもと、奈良本店を皮切りに、大阪(グランフロント)、東京(渋谷、東京スカイツリーソラマチ)へと店舗展開を進め、果物の新しい楽しみ方を提案してきました。

令和7年8月には、消費者と生産者をつなぐ複合型の食体験施設「堀内果実園Land(ランド)」を五條市にオープンしました。

次世代へつなぐ農業

今後も、6次産業と持続可能な農業経営を追求し、次世代へと実りをつなげていくとともに、地元五條市の「5万人の森公園」の運営管理を通じて、「五條へ人を」をスローガンとして地域創生に貢献していきたいと思っています。現役の農大生の皆さんには、農業は挑戦次第でいくらでも可能性が広がる産業だということを伝えたい。現場で学び、自分の頭で考え、失敗を恐れずに一歩を踏み出してください。東京農大で得た学びは、必ず皆さんの未来を支えてくれるはずです。



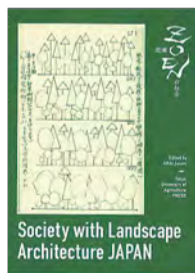
地域創生と活性化に尽力する堀内代表取締役

(株)堀内果実園の概要

代表取締役 堀内 俊孝
創業 明治36年
平成25年(株)堀内果実園設立
所在地 〒637-0001
奈良県五條市西河内町1219-1
電話 0747-20-8013
FAX 0747-20-8014
事業内容 果樹生産、加工、販売、カフェ直営店(カフェ&ショップ)
奈良三条店、グランフロント大阪店
堀内果実園ecuteEDITION渋谷店
東京スカイツリーソラマチ店
堀内果実園TEA PARLOUR
食体験施設「堀内果実園Land」(五條市・本社内)
<堀内果実園のホームページ>
<https://horiuchi-fruit.jp/>



Society with Landscape Architecture JAPAN (造園の社会)



Edited by ARAI Ayumi
定価:3300円(10%税込)
A5判・並製・カラー
◇日本には長く培われた造園の歴史がある。その歴史を飛鳥・奈良時代から現代まで概説し、現在の環境問題に繋がる造園技術、造園教育を論じた英語著書である。留学生をはじめ、造園学を学ぶ若き造園学習者のための教本としても役立つ。

森を活かし 森に生きる



宮林茂幸 編著
定価:3740円(10%税込)
A5判・並製・カラー
◇宮林東京農大名誉教授の45年間にわたる教員生活を振り返って卒業生の発案により出版。先生の薫陶を受け、卒業して森林・林業・林産関係の行政機関や現場などで活躍する25人の実践からの論述は社会や地球環境の本質に迫る。

榎本武揚と近代日本 (上) 「国民利福」を追い求めて



中山昇一 著
定価:2970円(10%税込)
A5判・並製・カラー
◇本学の生みの親、榎本武揚の民福に資する国利の諸方策、明治の時勢を判断しての南進方針、地球規模の社会・経済・軍事を捉えた国際人、家族愛に満ちた人となりなど、膨大な資料を分析して新榎本像を浮き彫りにさせ現代に問う意欲作。

農業貿易の政治経済学 農業貿易論のすすめ



應和邦昭 著
定価:3960円(10%税込)
A5判・上製
◇考察対象が限定的で狭小な従来の「農産物貿易論」に代わって、より広範な「農業に関連する貿易事項」を「農業貿易」と捉え、国際貿易論の一研究領域をなす「農業貿易論」という新たな研究領域の必要を説いた著作。

花と実と根でみる タイのマングローブ もう一つの生態観察ガイド



江口文陽 企画
皆川礼子・大田克洋 共著
定価:4070円(10%税込)
A5判・並製・カラー
◇マングローブ生態系の研究成果を、1000枚余りのカラー写真を用いて紹介し、タイのマングローブ林に初めて足を踏み入れる人が抱く「これは一体何という名前のものだろうか」といった疑問に答える生態観察ガイドブック。(関連記事10面)

実践・アグリビジネス 3



半杭真一・内山智裕 編集
代表
定価:1320円(10%税込)
B5判・並製
◇東京農大卒業生の中から第一線で優れた業績を上げている「地域に根差すアグリビジネスが担う新しい価値創造のかたち」を紹介し、学生の実学用テキストとして編集。◇2024年11月に開催した「東京農大経営者大賞」受賞者2人を紹介。

東京農大の本

東京農大出版会
〒156-8502 世田谷区桜丘1-1-1
TEL 03-5477-1266
FAX 03-5477-1274
申込先

箱根駅伝への道 one コイン募金

協力者ご芳名

※令和7年10月から令和8年3月までに
校友会本部にお届けいただいた方々で
す。(順不同、敬称略)

【北海道】及川哲夫 神谷 浩一 木村健吾 北川健二 荃澤匡人 駒形啓介 佐久 間幹夫 佐々木正興 島利 夫 白田慶和 鈴木隆明 行方裕七 春田博人 平沼 徳行 松本武士 宮田純一 矢浪隆之 大和義幸 吉田 勉幸 井上辰美

【青森】加藤徹 鎌田哲司 佐伯百合子 田中信一 高 橋等 玉田宏造 野坂秀樹 福士敬博 古川滋 箕輪隆 光 村田和哉 山田晃

【岩手】浅利修 宇部茂樹 菅野修一 菊池春彦 小財 颯太 駒井元 嵯峨忠志 高橋誠恒 竹田直彦 角掛 力 中河正克 長山一夫

【宮城】会田保良 阿部寛 伊藤裕之 岩井宏太 恵美 雅信 遠藤星韻 加藤栄徳 熊谷聖昭 後藤勉 小山真 光 佐藤宏正 佐藤結美 菅原徹 高橋純也 門間清 鹿野憲也 佐藤順治 鈴木 彦衛

【秋田】伊藤公成 伊藤鉄 勝 加賀孝司 佐々木清勝 佐々木将 田村正昭 高橋 均 堀井股次 柳原守 江 橋宏栄 佐々木孝志 ▼横 手地方支部総会 伊藤仁 飯野正和 上野優太郎 佐 々木朗 佐々木仁 齋藤星 児 佐々木朋樹 菅原正志 高橋正弘 七尾章三 畑律 太郎 原徳兵衛 本間利博

【山形】阿蘇孝生 安食徹 郎 五十嵐文夫 板垣文彦 今井俊治 遠藤紀晃 奥山 康博 門脇雅彦 今野新一 郎 須藤行雄

【福島】吾妻國夫 阿部和 弘 安部達郎 阿部和永治 青砥輝臣 和泉伸雄 石川 弘 江尻徳子 小野里正信 大井幸広 大竹幸一 大平 善章 小貫秀祐 金子孝一 小松信 佐々木一成 佐藤 一雄 佐藤國雄 佐藤暢一 郎 齋藤幸祐 鈴木慎 鈴

木洋一 田久保昌 田子英 司 田村明夫 高橋庄作 立谷保 戸田義巳 富山裕 治 仁平忠行 服部悦夫 平山長一 藤田宗夫 村岡 孝夫 諸井道雄 山野辺英 尚 吉田暖 星久一郎 ▼ 会津田島会

【茨城】梅津勝利 小野泰 岡本晋 上浦江身子 菊池 知之 田淵彰夫 恒川敏江 恒川芳克 中山和貴 服 部卓巳 福田洋 藤修一 村上忠義 山崎晴彦 山本 忠安 湯原久之 横田慎治 綿引公明 ▼支部総会 秋 山春男 秋山博昭 雨澤英 治 池上一郎 池田拓 池 田正 池田正文 石引英世 磯野貴志 今井芳彦 内田 拓真 梅原和子 浦里知可 良 江橋和土 大津貴弘 狩野平左衛門岳也 神生恭 利 兼平理香子 亀山貴宏 木曾義弘 菊池博紀 栗原 祐一 結束重信 佐藤忠行 櫻井信幸 鈴木勝一 鈴木 周也 鈴木綾馬 高野三郎 外塚潔 外塚憲一 外ノ岡 政典 長岡健蔵 長澤淳 中村憲治 成井重美 新堀 俊博 根本力 長谷川泉 服部卓己 人見有樹 廣原 嘉長 藤咲修一 増尾重治 松本正宏 水柿一俊 水越 達也 宮本昭彦 八木岡努 山本忠安 油原正明 渡辺 和宏 藤信弘 加藤喬大

【栃木】浅井さつき 出井 康夫 稲葉芳夫 岩沼守男 大瀧和弘 川村肇 笹沼英 夫 清水孝真 蓮實常夫 平山克典 三宅恭典 谷中 正幸 山本篤 渡邊貞治

【群馬】青木泰孝 新井聖 司 和泉一郎 井田泉 飯 塚利彦 石井康雄 小川正 彦 大塚孝明 狩野恵司 金井誠治 黒岩春久 後閑 和美 小和田和貞 佐藤誠 一 清水基 神保一雄 神 保孝史 関口一秀 関口玲 子 高井康行 塚越邦明 土屋猛 勅使川原功 徳江 清東 中澤丈一 中嶋久美 中村敬太郎 林義之 伴内 俊昭 藤城将 星野嘉平治 星野欣司 結城千尋 横澤 馨 澤田三郎 杉田咲織 杉田明美 ▼支部幹事会

伊藤勲 市川平治 井上敏 聡 岩田貴嗣 上原伸吾 上原由美 小澤正和 大井 圭一 大塚孝明 大山安 岡部蘭子 国峰弘子 栗原 勇夫 栗原宏泰 小谷野基 坂本巧一 清水伸一 重田 英男 白石久美子 須藤義 則 高橋伸幸 中澤丈一 成田邦夫 橋本隆弘 堀口 恵子 松村晋之 丸岡透 宮島孝順 六角敏三 塩谷 伊藤勲 ▼支部総会 新井史隆 一 岩上憲司 大井圭一 大塚孝明 大山安 金谷道 行 川端恵一 木暮一広 齋藤政雄 坂本巧一 櫻井 幹男 清水一也 清水大助 清水敏夫 白石久美子 高 橋太郎 高橋伸幸 富田公 隆 中澤丈一 林智康 福 島正 堀口恵子 矢端幹男 横澤馨 六角敏三 渡邊靖 江 清水太 山田紀久子 山 川崎浩太 山田紀久子 山 田さおり

【埼玉】栗倉昭夫 石引成 正 上野幸子 内野雅之 大橋二千 大石惟人 岡村 章夫 金子博之 金子元優 久保田紀彦 栗山律子 小 迫典子 小山一暁 小山直 城 佐藤悌三 澤田七朗 篠藤田鶴子 正田淳史 関 根家松 武井正宏 圓岡晴 美 中島洋志 長濱功 中 村勤 沼田慶吾 野口由香 理 信澤一郎 萩原功登 島山剛 平井勝 深井瞳 藤田進 野田憲昭 松岡延 勝 宮澤史明 村田実智子 村田一真 森田直人 森田 八木久 山田義之 横田 田春夫 吉岡国男 渡辺栄 吉 高野純子 大澤隆男 徳川克也 松本康博 安達 哲司 岡本素子 高橋陸 徳刈琴音 細川朋子 水澤 洋介 八幡敏正 吉田健一

▽川越支部総会 相田英一 伊藤一夫 飯野芳彦 小野 甲二 大河内裕之 忍田純 啓 落合敬一 粕谷貞夫 亀井和誠 北田紀久雄 黒 澤きよ子 後藤久雄 杉田 忠彦 田中淳 高橋陸 長 嶋保雄 水澤洋介 神山達 人 安達哲司

【千葉】居関隆治 糸井徳 吉 岩井尉行 岩瀬和夫 上田陽子 大塚隆一 金子 定晴 吉良管二 菊地謙二 栗本晶子 黒澤強 小峰昇 小谷野達哉 小安由男 佐 瀬隆夫 佐藤辰夫 雑賀弘 安 齊藤光一 杉田恒雄 鈴木義夫 田川博 高尾朋 行 竹内育太 玉田裕加里 時田正敏 鳥海裕雄 中嶋 靖子 中瀬優一 並木宏之 廣駿 保立泰 松浦真紀 三須健一 村越隆人 山崎 毅 山崎雅士 渡邊富男 大野久男 野澤和広 日高 貞雄 福井俊夫 桑原正子 【東京】安達武史 芥川誠 甘利孝雄 安達秀樹 生田 目伸子 石井田常雄 石井 紀裕 石井由香 市原幸文 井上城一 井上信人 井上 三天 井上洋子 井上智美 岩佐達憲 岩永隆利 上原 裕之 大泉高明 大澤正明 大橋邦雄 大柄仁 岡本裕 谷 笠井増夫 金子徹 熊 谷淳 熊本進 森原敏 小牧昭次 小森みずほ 佐 渡谷修治 佐藤宏 櫻木薫 芝田靖孝 白鳥日南子 城 田一義 杉浦正章 杉本公 子 関口哲雄 関瑞絵 曾 我正三 相馬康晃 田中和 敏 田中隆治 高杉晋一 高橋一 高鷲淳一 龍柳 永市 竹田大亮 寺崎柳 永廣典良 中村忠義 中村 利行 並川直人 西村和中 西夏樹 野口築 秦成夫 原八郎 土方功 菱沼裕 廣田憲三 保坂光一 細井 誠一 前原秀保 前田終 箕形崇史 三浦隆寛 水野 静 村越久男 村田興安 藤井正孝 森田晴紀 山科 耀子 横山直子 吉田嘉文 吉本明幹 伊藤優 今井正 克 岩田由佳理 小野甲二 大橋邦雄 加藤吉郎 嘉屋 治雄 川崎絵理 桜田仁頭 目裕美子 高塚敏 常見知 弘 村上保裕 山口ふかみ 井出敬子 西池良二 松田

真須美 支部役員一同 【神奈川】相原利雄 青木 信二郎 青木豊 浅井徹 飯田確男 飯干真理 市之 瀬智也 井上徹 遠田明里 尾田喜作 大石壽野 大川 晴美 岡澤信一 荻野信博 奥田敦司 澤合兼雄 川崎 賀津雄 河原隆一郎 銀山 健 國原稔也 窪田弘幸 窪内勘介 蔽華新 小林信 弘 子安良治 佐藤光 坂 間登 境田康弘 塩崎進 園隆雄 高木泰宏 田村成 美 綱島義光 恒石日出雄 内藤千丈 中川紳一 中嶋 良樹 中田仁 中山貴作 山中優作 中山優梨 新原 拓 西川裕康 長谷川寿雄 早道良宏 福沢周平 古屋 藍 細谷晋之 堀内茂 松 浦一司 松本章宏 萬納佑 平三好和博 三好吉清 武藤敏正 村田文武 村野 恭一 諸星栄子 安田均 山口昌明 山本光輝 八日 市屋敏雄 吉垣博 渡邊充 渡辺倫久 大野秀樹 数田 久雄 小暮潤 塚田拓三 浦節子 山崎祐子 北原雅 子 山下知子 ▼湘南校友 会 安居院賢治 青木優 安藤清 伊藤隆夫 伊藤祐 次 石川健太郎 出縄誠 大木克美 岡田茂樹 片野 喜章 神戶泰明 木島三弥 木村正人 北村良久 吉川 憲一 熊澤輝生 塩野英男 鈴木晃臣 田代善則 田中 文司 高梨昇 高梨福太郎 高見澤佑介 高梨誠也 竹 内伸一 統橋基生 露木収 内藤聖樹 中島聡 平之内 孝夫 福島和好 前田隼彦 増田健治 松山明彦 三 久夫 水島詢 村上健治 山口敏雄 山田潔 山本茂 八日市屋敏雄 八日市屋敏 之 和田弘基 ▼湘南なぎ さ会 浅間祐一 石田洋史 内野宏幸 大久保泰明 川 原史子 神田務 齋藤直樹 渋谷忠宏 高橋正江 高井 博文 高東正光 高橋育昭 高橋芳嗣 東條一哉 中野 秀明 西山僚介 埜村峻太 郎 橋本利男 古谷修一 齋藤綜太 八木洋子 矢口 尚弘 横手寛紀 吉浜寛人 岡本正 村田藤司 須藤一 三 ▼湘南なぎさ総会 尾嶋博 大久保泰明 加藤 恒雄 桂田孝 神田務 後

募金の方法(ご案内)

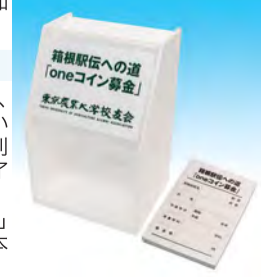
- 銀行送金での寄付について**
寄付金は、以下のいずれかの方法でお振り込みいただけます。
- 1 寄付金控除を希望しない場合
 - ① ゆうちょ銀行「払込取扱票」を利用して送金できます(校友会ニュースなどでご案内しているもの)。
 - ② 1口500円以上。金額・回数に制限はありません。
 - 2 寄付金控除を希望する場合(大口寄付)
 - ① 「東京農大スポーツサポート募金」専用の払込票(三井住友銀行・三菱UFJ銀行・ゆうちょ銀行)をご利用ください。
 - ② 詳細は同封のパフレットなどでご案内しています。

集会などでの寄付について

- ① 会合などで募金を受け付ける場合は、1口500円以上を目安にしています。
- ② お名前・金額を記入する募金用紙を設置し、募金箱への投入をお願いします。
- ③ 領収書の発行は行っていません。
- ④ 募金は、まとめてゆうちょ銀行「払込取扱票」を使って送金することも可能です。
- ⑤ 払込票の通信欄には、団体名やイベント名などの記載をお願いします。(例:「○○支部総会参加者一同」など)。

※其他のご案内

- ご協力いただいた方々のご芳名は、原則として校友会ニュースに掲載いたします。お礼状・領収書などの個別送付は行っておりませんので、ご了承ください。
- 「箱根駅伝への道 one コイン募金」に関するお問い合わせは、校友会本部までお願いいたします。



藤茂樹 渋谷忠宏 橋本利男 松居靖雄 ▼箱根駅伝にて 石黒毅 磯田博孝 岩間貴之 内田愛実 大久保義和 加藤恒雄 桑原みなみ 小金井友治 神原夏 渚 下山和正 田中一吉 福山伸一 三澤元芳 村石 登 村田享 持田文男 吉 田泰弘 神原寧心 神原仁 美 大久保涼吾 三澤幸代 三澤由太 三澤正幸郎 浅 田明伸 浅田美佳 小田正 道 小田祥子 中村直美 蝦名讓 蝦名桂子

【山梨】飯島博 落合正仁 小俣和志 小林敏 佐藤勝 男 佐藤伊男 土屋伝二 宮川俊一 渡邊賢二 小野 甲二 ▼支部総会 阿部秀 利 赤池良久 天野広明 雨宮一樹 雨宮正行 有賀 雄二 栗沢充雄 飯島優一 石井利幸 石原政人 稲村 孝一 今福敏樹 内田多加 夫 内田明良 内田圭哉 海野一幸 小澤紀元 小野 修一 大澤一仁 大村春夫 萩原守 加藤政彦 勝俣匡 章 久保田公雄 日下慶 後藤圭二 小林修 小林夕 介 五味敬子 興行進也

近藤由光 佐藤勝男 佐藤 照幸 齊藤祐紀 齊藤陽一 齊藤洋子 四條頼重 清水 一也 塩崎欽哉 吹田孝輔 高橋義徳 武田英信 千野 敬 千野徹也 塚野孝太 堤明伸 手塚順一郎 手塚 千広 寺本祐治 中島勝人

野中修 長谷川正一郎 埴 原喜久男 埴原文香 萩原 敬次 原弘樹 原昌一 藤 春真史 藤本好寿 古郡文 春 古屋勝 保延実 宮川 俊一 柳田藤寿 山縣大海 山本義幸 湯舟芳幸 米山 敏彦 米山正仁 渡邊賢二 峯島昌恵 宮川香織

【長野】有賀一治 飯島廣 稻村忠 今井利行 大川栄 一 大久保一彦 岡澤雅士 加藤香 栗原綾子 小池吾 昭 小田切多聞 小池吾 小林義彦 住吉すみ 田村 重俊 土屋聡 西方徳雄 西沢正行 根津彰寛 花岡 義昭 堀内幸敏 増澤武雄 松田史郎 松山明正 岡島 芳幸 岡本素子 目裕美子 竹村義久 平沢一

【新潟】浅見毅 五十嵐恒 之 五十嵐弘行 今井正樹 岩出久夫 榎並宏之 小柳 豊 大瀧弥一 荻莊誠 風 巻一文 木村喜芳 小林敦 関崎政一 曾我達朗 田辺 一輝 高野俊 立川久彦 谷口豊 土田正次 土田正 人 西方圭 野田幸資 本 間孝則 丸山和秀 宮崎長 山崎浩 横尾幸秀 吉村正 渡邊初子 柿村徳成 福田 早織 渡邊英彰 奥田洋之 奥田陽太 鳥野孝一 ▼支 部幹事会・事務局局長会議 稲葉始 上杉義行 大林秀 大村徳夫 加納秀紀 後藤 昇一 篠原恵 鈴木正登 (9面に続く)

【8面から】
 富永敏弘 糠谷慎則 平岡 知明 堀直和 水嶋文人 望月俊明 山本宣司 山下 高允 V支部総会 新井賢 吾 鈴木正登 曾根田卓也 高塚勝之 糠谷慎則 畑善 広 原賀浩太郎 平岡知明 保坂典彦 村松乾 望月俊 明 望月康弘
 【愛知】梅原久徳 大西伸 一 加古直博 神谷直久 小坂秀生 小林俊元 白井 正文 都築二郎 藤原幹紹 宮澤秀祐 清水千佳
 【三重】宇城良根 佐々木 正和 中村元彦 仲立治 服部卓也 森秀二 V三重 県支部マルシェ 参加者一 同
 【滋賀】佐々木博司 上西

宗市 林和良 細川努 室 井寛 山本祐馬
 【京都】小林正典 高石正 之 竹下孝志 中野宏 中 村善人 西村祐二郎 堀井 喜昭 和田良次 V支部総 会 伊藤義男 加藤嘉基 川邊哲平 北山浩士 小島 義治 田中伸治 中原茂
 【大阪】稲垣孝 井原奈津 岡本かずみ 岸上宏司 櫻 井清 戸口昌俊 廣瀬昌司 南川正一 益田道雄 V支 部総会 参加者一同
 【兵庫】植村裕哉 大石貴洋 介 植村裕哉 大石貴洋 沖塩昌太 小寺秀和 新在 家尚人 田中敬士 建入賢 太郎 建入倫子 舛賀信介 森井秀行 久保田浩平 平 野修之

【奈良】相沢勉 森下起佳 【和歌山】尾崎修平 筋本 晃至 那須健人 前田彦尚 【鳥取】赤井重範 尾崎史 明 小野田眞 小野田京子 佐々木善啓 竹茂幹根 手 嶋洋暁 西村良夫 福田孝 彦 松村譲 三谷秀之 山 根哲朗 有田潤子
 【島根】斎藤寛治 高尾倫 弘 西尾誠治 松浦秀信 三島勝雄 安永友行 山本 建夫 吉田康雄 V支部総 会 安藤彰浩 井上隆之 今岡一朗 小野康司 小村 光和 大畑整 柿田一真 坂 門脇康夫 佐々木和人 坂 根俊 周藤康令 園山幸雄 武田章 辻原理 原信行 堀江康輔 三浦和成 右田 基司 宮脇正寛 目次俊司

柳井良仁 V支部役員会 安藤彰浩 小野康司 佐々 木和人 園山幸雄 堀江康 輔
 【岡山】赤澤光彦 安藤寿 史 國富孝 武田一昭 川上 木正夫 則武伸一郎 川上 一清 桑田幸治 V支部総 会 赤澤猛 安東厚生 石 井秀生 加門敏弘 金平邦 男 祇園公子 小見山昌夫 塩尻典正 橋本一 永原豊 原田和明 広瀬敬彦 本郷 繁之 光石正和 三宅正記 横林秀樹 渡邊俊雄 渡邊 英気
 【広島】伊藤勝也 居升邦 彦 大前直行 奥村恭兵 岸達三 倉本和男 黒永眞 弘 桑田良 坂井正治 実 井晃久 高橋敬明 竹前勇

二 野村英雄 藤村裕明 松浦省志 松平岩男 八谷 文策 加田直久 V広島分 会有志 居升邦彦 畝茂 加田直久 金光秀起 川中 敬三 河原直司 木村潤造 吉川清一 黒田幸喜 実井 晃久 高橋敬明 谷口迪生 谷藤孝宏 竹志幸洋 長原 毅 福島正博 松平岩男 V万田発祥農大会 岩井萌 高本美香 富田健介 樋口 和彦 古川純恵 松田健太 朗 矢倉弘子 松浦新吾郎 【山口】有川昌義 岡本秀 一 金子秀人 河村洋亮 木村晋 木村泰博 楠本繁 国広義行 澄川隆俊 田中 征弘 田村尚利 高寄達生 富田安英 羽鳥敬祐 羽鳥 宗祐 藤井孝 藤田洋三

藤村賢治 村田達郎 山本 義文 内田博之 河内隆豊 西藤克己 福光賢巳 【徳島】石田仁志 井上暁 大上善巳 中野 松田五 郎 山本祐三郎 吉本泰之 【香川】木内正茂 榊原優 高笠原昭男 谷川泰三 藤 崎盛清 藤本伸一 【愛媛】大沢一彦 梶田成 昭 菅野邦彦 忽那哲郎 佐々木俊洋 玉井参良 山 下重蔵 山下慎一郎 【高知】岡林保幸 川澤敏 一 國廣武志 西内植浩 野村守田 安本悠希 吉川 浩史 益漁丸 【福岡】井手裕康 上田信 牛嶋克典 小川耕司 寺川潔 中村三男 浜崎俊 靖 日渡圭一郎 深町吉秀

福本平 水崎美孝 輔 白木國夫 陣内幸年 大保澄秀 高田啓世 田上 征人 福田清和 松本和文 三森孝一 村田健 米加田 健友 【大分】井上伸史 川野幹 夫 五島遼太郎 高橋巖 内川茂徳 【宮崎】志岐利美 岩切順 次 金丸一夫 黒田和雄 V支部総会 鎌和俊 壹岐 公紀 石川睦美 岩切順次 緒方一男 金丸万壽雄 黒 田仁志 興和敏彦 坂元耕 三 佐藤健太 四角目吉紀 下東義忠 谷口忠彦 富田 秀子 長倉春義 永友伸二 永友英樹 堀之内真司 増 田慶信 増田直紀 横山益 夫 吉田恵梨歌 有志一同 【鹿児島】有村久生 内田

雄一 神孝輔 中村庸夫 野田文蔵 福島基司 船橋 修一 古市俊雄 村上榮昭 【沖縄】慶久次興和 諸喜 田徹 渡久地朝子 比嘉昌 晋 大手憲之 【団体】V昭和45年短期 大学農業科同窓会 参加者 一同 V経営者会議賀詞交 歓会 有志一同 V東京農 大農経48会 秋山春男 上 村俊博 内田博道 小野崎 一男 大垣喜規 大下史郎 笹澤春雄 出口博則 菱沼 良平 廣田悦男 藤木忠良 藤崎和夫 古屋香 松村讓 松吉幸子 宮崎力 本木忠 正 森戸桂子 柳原元 山 口美智子 山下重蔵 山本 茂 参加者一同

かんきつ隔年結果解消

収量増加、作業も容易に

東京農大校友の稲葉元良氏（昭5農、静岡市清水区、元静岡県果樹研究センター研究統括監）は、かんきつ栽培における長年の課題である隔年結果の解消を目指し、平成26年から30年にかけて新たな栽培技術「片面交互結実栽培」を考案・開発した。



稲葉元良氏が考案

J Aしみず在職時は コンサルタントとし て、安竹英晴氏ら若手 営農指導員や生産者と 連携し、現場に即した 技術の確立に取り組ん だ。

不着果面

片面交互結実栽培法のイメージ図



温州ミカン、とりわ け「青島温州」は隔年 結果が起りやすく、 収量の不安定さが大き な課題となっている。 本技術は樹冠を縦に 半分に分け、果実をな

らせる面とならせない 面を毎年交互に切り替 える方法。作業が比較 的容易である点に加え て、安定した結果と収 量増加が期待できる。 その後、J Aしみず や静岡県果樹研究セン ター、農研機構、静岡 県立農林環境専門職大 学短期大学の杉山泰 之教授らによる共同調 査で良好な成果が確認 され、マニュアルとし て取りまとめられた。

杉山教授による園芸 学会での紹介や、令和 7年開催のJ Aしみず みかん大会における稲 葉氏の表彰など、本技 術の研究成果は高く評 価されている。

令和5年度からは静 岡県の新成長戦略研究 として位置付けられて いる。現在も静岡県果 樹研究センターを中心 に、さらに詳細な研究 が進められている。

支部・校友だより



校友の結束強める

山形県支部が 総会・懇親会



東京農大校友会山形県 支部は10月25日、山形市 内の山形国際ホテルで令 和7年度総会・懇親会を 開き、会員56人が出席し た。

総会に先立ち、昨年12 月に逝去された前支部長 の佐々木藤正氏(昭30農)

を悼み、黙とうを捧げた。 議事では、将来の人材 育成を見据えた支部規約 改正のほか、令和6年度 全会一致で承認された。

事業報告・決算、令和7年 度事業計画・予算、役員 改選を審議し、いづれも 全会一致で承認された。

新支部長には仲野益美氏 (昭59農) が就任した。 【山形県支部幹事長・鈴 木俊行(平7林)】

支部総会開催一覧

(令和7年10月～令和8年3月)

支部名	日程	来賓出席		参加人数	場所	講演等
		校友会本部	大学			
徳島県	10月18日	土 石原憲一郎理事	応用生物科学部長 山本祐司教授	23	徳島市	—
山形県	10月25日	土 小野甲二副会長	—	56	山形市	—
茨城県	10月26日	日 鈴木崇之常任理事	地域創成科学科 入江彰昭教授	81	土浦市	県内で活躍する校友の活動報告：増尾重治氏(昭50農)、鴨志田隼輔氏(平24造)、結束重信氏(昭49林)
岩手県	11月8日	土 小野甲二副会長	地域環境科学部長 竹内康教授	30	盛岡市	—
石川県	11月8日	土 鈴木崇之常任理事	国際農業開発学科 本橋慶一教授	37	金沢市	—
大阪府	11月15日	土 豊原秀和副会長	副学長 三原真智人教授	25	大阪市	—
山梨県	11月15日	日 岡本利隆常任理事	森林総合科学科 矢部和弘教授	70	甲府市	「小菅村の概要」村長 鈴木直美氏、「源流大学の概要」理事・事務局長 石坂真悟氏
福井県	11月22日	土 岡本利隆常任理事	—	33	福井市	—
愛知県	12月13日	土 小野甲二副会長	国際農業開発学科 真田篤史教授	30	常滑市	見学会：澤田酒造(株) 取締役会長 澤田研一氏(昭49農)
静岡県	1月18日	日 鈴木崇之常任理事	学校法人 前常務理事 手島秀樹氏	145	沼津市	コンサート：オペラ歌手 志村糧一氏
北海道	1月24日	土 岡本利隆常任理事	生物産業学部長 千葉晋教授	67	札幌市	—
群馬県	2月22日	日 鈴木崇之常任理事	地域創成科学科 入江彰昭教授	70	前橋市	講演「小栗上野介の生涯」 元倉潤村長 市川平治氏(昭45林)
宮崎県	3月7日	土 養茂寿太郎常任理事	副学長 門倉利守教授	45	宮崎市	—

校友会から

住所変更 などのご連絡

住所変更や改姓、ご逝去されたなど会員情報の変更は、校友会ホームページ(H.P)内「会員名簿変更フォーム」から入力できます。左記QRコードからアクセスしてください。



校友会H.Pを ご活用ください

校友会のH.Pには、校友会本部の会議予定や、都道府県支部の役員や会則、支部総会の開催予定、活動報告などを掲載しています。同窓会・同期会の案内・開催報告にもご活用いただけます。

校友会事務局までの交

連絡路は、下記QRコードから。



会員の動静

支部などから報告があった方のみ記載。

- 令和7年春の叙勲で次の方々が受賞されました。
- ▲瑞宝双光章 神奈川支部 大久保 泰明氏(昭51短農)
- ▲旭日単光章 埼玉支部 柳澤 紀夫氏(昭39造)
- ▲令和7年秋の叙勲・褒章で次の方々が受賞されました。
- ▲旭日双光章 福島支部 野崎 吉郎氏(昭53農)
- ▲黄綬褒章 長崎支部 大塚 真一氏(昭62短)
- ▲藍綬褒章 佐賀支部 馬場 第一郎氏(昭56醸)
- ▲次の方が当選されました。
- ▲市町村長 岩手支部 西和賀町 令和7年11月9日 2期目
- ▲内記 和彦氏(昭59林)
- ▲新支部長就任 島根支部 令和7年10月就任
- ▲令和7年10月就任 小村 光和氏(昭56林)
- ▲山形支部 10月就任 仲野 益美氏(昭59醸)
- ▲青森支部 令和8年1月就任 大谷 卓司氏(昭56化)
- ▲以下にご逝去が報告された会員を掲載します。
- ▲麻生 昇平氏(昭28化)
- ▲令和7年9月11日 田丸 敬三氏(平4造)
- ▲東京都支部 9月19日 伊東 照雄氏(昭39工)
- ▲富山支部 10月3日 杉山 修一氏(平4院開修)
- ▲栃木支部 10月21日 外園 惲氏(昭37造)
- ▲埼玉支部 10月22日 安倍 孝至氏(昭46経)
- ▲静岡支部 10月27日 向後 明男氏(昭28畜)
- ▲塩崎 欽哉氏(昭59農)
- ▲山梨支部 幹事長 平成27年~令和7年(通算10年)
- ▲佐藤 晋也氏(昭52農)
- ▲青森支部 幹事長 平成21年~27年 支部長 平成27年~令和8年(通算17年)
- ▲千葉支部 12月5日 東京支部 1月4日 中瀬 優一氏(昭32経)
- ▲神田 昌幸氏(昭49短農)
- ▲東京支部 1月27日 花澤 良知氏(昭28短醸)
- ▲千葉支部 1月27日 滝沢 勇氏(昭40造)
- ▲小松山 善継氏(昭44経)
- ▲福島支部 支部長 平成16年~30年 本部長 平成27年~令和元年 本部長 令和元年~7年(通算21年)
- ▲工藤 隆氏(昭48工)
- ▲山形支部 幹事長 平成18年~令和7年(通算19年)

畜産学科同窓会からの寄付

昨年5月、畜産学科同窓会より校友会に対して、153万8150円のご寄付を賜りました。同窓会の温かいご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。お寄せいただいたご厚志は、校友会の発展と活動の充実のため、有効に活用させていただきます。

校友功労者表彰

— 本部長・支部長・幹事長 —

東京農業大学校友会表彰規程に基づき、校友会活動に顕著な功績を残された次の方々を校友功労者として表彰されることが決まりました。令和8年度の本部理事会および支部総会で伝達されます。

- ▲小松山 善継氏(昭44経)
- ▲福島支部 支部長 平成16年~30年 本部長 平成27年~令和元年 本部長 令和元年~7年(通算21年)
- ▲工藤 隆氏(昭48工)
- ▲山形支部 幹事長 平成18年~令和7年(通算19年)
- ▲塩崎 欽哉氏(昭59農)
- ▲山梨支部 幹事長 平成27年~令和7年(通算10年)
- ▲佐藤 晋也氏(昭52農)
- ▲青森支部 幹事長 平成21年~27年 支部長 平成27年~令和8年(通算17年)
- ▲千葉支部 12月5日 東京支部 1月4日 中瀬 優一氏(昭32経)
- ▲神田 昌幸氏(昭49短農)
- ▲東京支部 1月27日 花澤 良知氏(昭28短醸)
- ▲千葉支部 1月27日 滝沢 勇氏(昭40造)

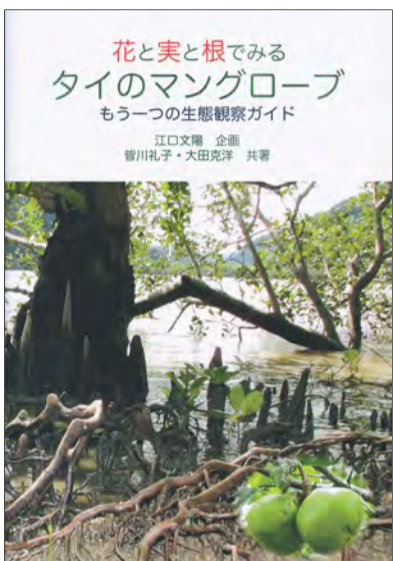
話題の図書

花と実と根でみる

タイのマングローブ

もう一つの生態観察ガイド

江口文陽 企画
皆川礼子・大田克洋 共著



「マングローブって何?」、「マングローブ林にはどんな植物があるの?」、「というようなマングローブに関する疑問に答える便利なガイドブックです。フィールドで利用できる図鑑、室内でマングローブ林内を体験できる写真集です。」

マングローブは、熱帯から亜熱帯の海岸から河川域に分布している森林です。日本では、身近な森林ではありませんが、タイでは、古くからマングローブ林の樹木を住宅用の木材や燃料用の薪炭材として利用していま

近年、スズの採掘、エビなどの養殖池、輸出入の炭焼きなどの目的で伐採が進み、マングローブ林面積の減少が懸念されました。東京農業大学では、タイの森林局や大学の研究者と共に、森林の保護と伐採跡地森林再生の共同研究を行ってきま

この本は、長期にわたる現地調査に携わった先生方と学生たちの撮影した写真と調査データを基に構成されています。マングローブ林の植物だけではなく昆虫や動物たちの素顔に出会えます。A5判271頁、定価4070円(10%税込)、東京農業大学出版会発行。

(皆川礼子)平成6年東京農業大学農学研究所博士後期課程修了、元東京農大非常勤講師、現在は明治大学農学部兼任講師、日本マングローブ学会理事)

注文方法と商品の発送について

ご注文は 校友会ホームページから

東京農業大学校友会 検索

メール・FAXでもご注文いただけます。必要な記入項目は以下の通りです。

- ①氏名、卒年、学科 ②送り先住所
- ③TEL(自宅または携帯)
- ④FAX(メールでのご注文の場合は必要ありません)
- ⑤品名と数量

E-mail ko3883@nodai.ac.jp
FAX 03-5477-2490

●校友会在庫を確認し、送料などを加えた販売価格をご連絡いたします。
●株式会社農大常磐松の口座でご入金を確認し、商品を発送いたします。

送金口座 三井住友銀行 経堂支店 普 5096938 口座名義 カ)ノウダイトキワマツ

●お問い合わせは TEL.03-3429-1983

●スプーンセット

農学部生物機能開発学研究室の長島孝行・元教授が開発・デザイン。昆虫タマシのカラフルな発色を応用した構造色のスプーンセット。高級感あふれるオシャレ感が秀逸です。

税込3,800円

●校友会旗

農友会活動の応援などで使用できるのはもちろん、部屋に飾ってもクールな校友会旗。縦約52cm×横約70cmの程よいサイズです。

税込3,000円

●名刺ケース

農大校友には必携。深い緑色が印象的な牛革製の名刺ケース。見開き部分に金箔押しで農大校友会の名入れがある。収納は約50枚、サイズは105mm×70mm。

税込1,650円

●ネクタイピンB

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:梨地仕上げ(農大マーク八角形)、メッキ:ニッケルメッキ。

税込1,050円

●ネクタイピンA

サイズ:12mm丸、ノセコ:七宝仕上げ(緑色)、メッキ:金メッキ。裏付属:チェーン付きタイタック式。

税込2,100円

●ネクタイピンE

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(農大マーク丸)、メッキ:ニッケルメッキ(本体)、金メッキ(ノセコ)。

税込1,050円

●ネクタイピンD

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(大根)、メッキ:ニッケルメッキ。

税込2,100円

●ネクタイB

剣先に農大ロゴのワンポイント入り。松葉緑のヘリンボーンに黄色のストライプでどんなシーンでも使えます。

税込5,500円

●ネクタイC

剣先に鶏のワンポイント入り。織り組織もヘリンボーンとすることで見栄えもしっかりしています。

税込5,500円

東京農業大学校友会 オリジナルグッズ販売

農友会活動

優勝 岩井選手フライ級 優 八木選手ミドル級

ボクシング部

2025全日本ボクシング選手権大会（令和7年11月25〜30日）
岩井大地（開1）写真右）がフライ級、八木大河（経4）同左）がミドル級で優勝し、特別賞で

賞、敢闘賞に選出された。また、山下学人（開3）がバンナム級、川村萌斗（開2）がライトミドル級で3位入賞した。

レスリング部

令和7年度全日本大学レスリング選手権大会（令和7年11月8、9日、堺市金岡公園体育館）

61kg級で野村蒼空（ハイオ1）、92kg級で平岡虎之介（造2）、97kg級で吉田拓真（造1）がそれぞれ5位入賞。東京農大は総合13位となった。写真



前田選手（右）と西本選手

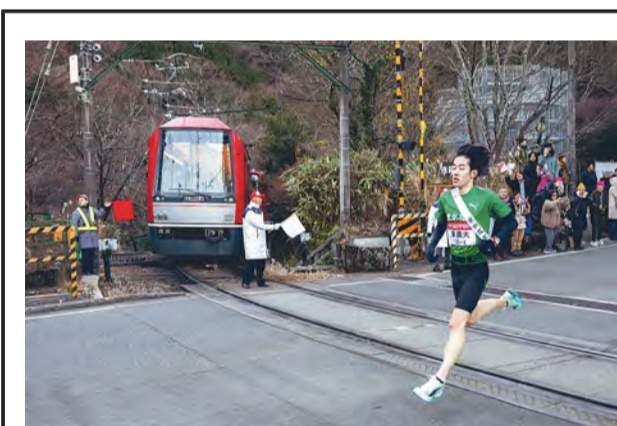
スキー部

第4回全日本学生選抜クロスカントリー大会（2月4日、新潟県妙高市内）

《男子10キロクラシカル》
前田航希（自然2）が優勝、西本みずき（自然3）も9位入賞した。



陸上競技部女子
強化指定部
2025全日本大学女子選抜駅伝競走（令和7



東京農大が主催し、農友会写真部が協力した写真展「走るを、写す」が世田谷キャンパス（2月10〜23日）、「食と農」の博物館（2月10〜3月28日）、厚木キャンパス（2月28日〜3月22日）、北海道オホーツクキャンパス（2月28日〜3月22日）で開かれた。写真展では1月2、3日に行われた箱根駅伝での陸上競技部の活躍を、農友会写真部の学生有志が、大学広報に協力して取材・撮影した作品55点を展示した。仲間へとたすきをつなぐ緊張と覚悟、沿道の大きな声援を背に懸命に駆け抜ける姿を捉えた力作がずらりと並び、訪れた来場者の関心を集めた。会場では閲覧者による投票も実施された。最高賞の学長賞は、市村伸太さん（動物2）の作品「とまれみよ」が受賞した。

箱根駅伝の感動再び

上競技部の活躍を、農友会写真部の学生有志が、大学広報に協力して取材・撮影した作品55点を展示した。仲間へとたすきをつなぐ緊張と覚悟、沿道の大きな声援を背に懸命に駆け抜ける姿を捉えた力作がずらりと並び、訪れた来場者の関心を集めた。会場では閲覧者による投票も実施された。最高賞の学長賞は、市村伸太さん（動物2）の作品「とまれみよ」が受賞した。

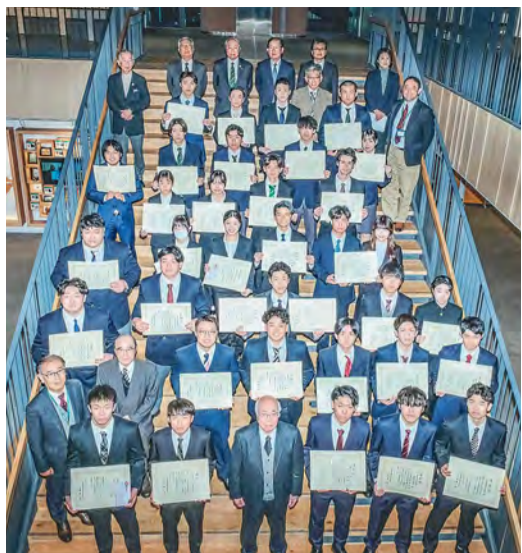
陸上競技部女子
第44回全国都道府県対抗女子駅伝（1月11日、たけびしスタジアム京都発着）
東京農大陸上競技部から西山英莉（山口県代表）、益塚稀（北海道代

表）、石正彩綾（富山県代表）が出場した。同部OBでは、飯野摩耶選手（平28経、山梨県代表、SNOW所属）、保坂野恋花選手（令2釧、山梨県代表、埼玉医科大学所属）、土田佳奈選手（令2健、新潟県代表、デン

相撲部
強化指定部
第103回全国学生相撲選手権大会（令和7年11月1〜2日、大阪堺市大浜公園相撲場）
個人戦で、木下優希（森

から東京農大陸上競技部飯野選手は出場選手最多の18回目の出走、4月コーチに就任した。

4）は決勝戦で敗れ、惜しくも準優勝となった。第74回天皇杯全日本相撲選手権大会（令和7年11月30日、両国国技館）アマチュア相撲の最高峰のタイトル「天皇杯」を競う大会。全国各地から選ばれた大学生、社会人、高校生の強豪80人が結集した。木下優希は本大会でベスト8（第5位入賞）の成績を取った。全国学生選手権個人で準優勝した実績もあり、日本相撲協会から幕下最下位格付の資格を承認された。



表彰された各部の代表

農友会で好成績 16団体・30人表彰

校友会主催による第41回農友会表彰式が1月23日、世田谷キャンパス・国際センターで開催さ



れ、顕著な成績を収めた16団体・個人30人に萬歳章会長が表彰状と褒賞を授与した。萬歳会長は「箱根駅伝

決意表明した陸上競技部の栗本主将



は上記QRコードから。



第56回明治神宮野球大会（令和7年11月14日、神宮球場）
北海道2連盟代表として2年ぶり6回目の出場を果たした北海道オホーツク硬式野球部は、1回戦で関西5連盟第二代表の立命館大と対戦。健闘したが2回戦に進むことはできなかった。

オホーツク硬式野球部
強化指定部



先発で力投を見せた神宮僚介投手（自然4）。2025ドラフトで阪神から育成1位指名された

国際大会 5人がV

空手部

第21回WJK国際空手選手権大会2025（令和7年11月28〜30日、インド・グジャラート州・ヴァードーダラー）

東京農大から出場した5人が優勝、1人が準優勝という優秀な成績を収めた。写真下。

成績は以下の通り。

萩原孝晴（微生物2）
第69回全日本大学空手道選手権大会（令和7年



11月16日、日本武道館）10月13日に開催された

也（食農3）
準優勝、岩本昊青（食農1）
永心暖（食農3）
75⁺優勝、鶴田陽太（経1）
畑怜（食農1）

11月16日、日本武道館）10月13日に開催された

関東大学空手道選手権大会で、男女共に団体組手でベスト16に進出。その結果、11月16日に行われた全日本大学空手道選手権大会への出場を果たした。

ホッケー部

関東学生ホッケー秋季リーグ（令和7年9月6日〜11月30日、大井ホッケー場など）

《男子1部》3位決定戦で慶應大に勝利した。

《女子1部》3位決定戦で早稲田大にSO（シュ

トアウト）で惜敗。第74回男子・第47回女子全日本学生ホッケー選手権（令和7年10月30日、大井ホッケー場）

男子、女子ともにベスト8。

男子¹河村魁徒（食農4）、女子¹宇田川桃花（食農4）が優秀選手に選出された。

高田宮牌2025ホッケー日本リーグ（サムライリーグD2、令和7年4月19日〜11月16日）

東京農大から優秀選手賞（ベストイレブン）に植木海帆（ビジネス2）、最優秀新人賞に曾根友之輔（創成1）が選出された。

農大OBの活躍

全国馬術大会で優勝 福島章選手

吉田選手は4位に入賞

馬術競技の国内最高峰の大会、第77回全日本馬術大会2025（公益社団法人日本馬術連盟主催）で、農友会馬術部卒業生が見事な成績を収めた。

令和7年11月7〜9日に、国のナショナルトレーニングセンターの指定を受けている「御殿場市馬術・スポーツセンター」で行われた全日本馬場馬術選手権（オリンピック）と同一の運動課目では、吉田匡慶選手（JRA競馬学校・平30ビジネス）が、引退競走馬のサトノオマージュ号とともに4位に入賞した。



障害馬術で優勝した福島選手



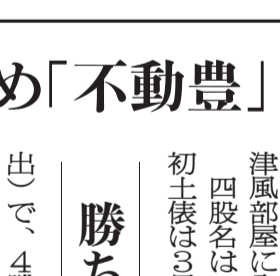
馬場馬術で4位入賞した吉田選手

競技に使用される馬は、海外で馬術用として生産・調教され、日本に輸入されるサラブレッド以外の馬が主流のため、引退競走馬での上位入賞は極めて意義深い。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

競技に使用される馬は、海外で馬術用として生産・調教され、日本に輸入されるサラブレッド以外の馬が主流のため、引退競走馬での上位入賞は極めて意義深い。

IAU50⁺世界選手権大会が3月14日、インドニューデリーで開催され、岡山春紀選手（平29ビジネス、コモディイイダ所属）が出場し写真下。日本新記録・アジア新記録の2時間50分44秒、8位



50キロマラソン アジア新記録 日本代表・岡山選手

は、海外で馬術用として生産・調教され、日本に輸入されるサラブレッド以外の馬が主流のため、引退競走馬での上位入賞は極めて意義深い。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

また、11月14〜16日、東京オリンピックの競技会場となったJRA馬事公苑で開催された全日本障害馬術選手権（障害物の高さ150センチ）で、福島（旧姓¹佐藤）章選手（STAR HORSE S 平19経）が、出場した人馬の中で唯一、減点0の成績で優勝した。

東京農大出身の大相撲関取の成績

場所	正代		時疾風	
	熊本県/時津風 (正代直也・平26開)	宮城県/時津風 (富栄秀喜・平31森)		
令和8年3月場所 (大阪場所/エディオンアリーナ大阪)	西前頭8枚目 8勝7敗	東前頭9枚目 5勝10敗		
令和8年1月場所 (初場所/両国・国技館)	東前頭8枚目 7勝8敗	東前頭10枚目 8勝7敗		
令和7年11月場所 (九州場所/福岡国際センター)	西前頭5枚目 4勝11敗	西前頭14枚目 9勝6敗		
時天嵐 (猿川天嵐・令6森)	西幕下36枚目 3勝4敗			
令和8年3月場所	西幕下58枚目 5勝2敗			
令和8年1月場所	幕下最下位格付 4勝3敗			
不動豊 (木下優希・令8森)	幕下最下位格付 4勝3敗			
令和8年3月場所	幕下最下位格付 4勝3敗			
時健龍 (有瀬健人・令4開)	西三段目40枚目 1勝6敗			
令和8年3月場所	西三段目57枚目 4勝3敗			
令和8年1月場所	東三段目57枚目 4勝3敗			

【原口修（東京オリンピック馬術競技MC担当、平1農）】

【原口修（東京オリンピック馬術競技MC担当、平1農）】

【原口修（東京オリンピック馬術競技MC担当、平1農）】

木下あらため「不動豊」 時津風部屋 幕下デビュー

令和7年の全国学生相撲選手権で準優勝、全日本相撲選手権ではベスト8に輝き、幕下最下位格付の資格を得ていた木下優希さん（令8森・長崎県諫早市出身、22歳）が、時津風部屋に入門した。

四股名は「不動豊（ふどうほう）」。

初土俵は3月場所（幕下最下位格付出）で、4勝3敗と勝ち越しデビューを果たした。

時津風部屋は、師匠の時津風親方（本名¹森下祐哉・平19工）をはじめ、幕内¹正代関・時疾風関、幕下¹時天嵐、三段目¹時健龍（ときげんりゅう）が在籍。不動豊が加わったことで、東京農大OBは6人となった（番付は令和8年3月場所）。

勝ち越し発進

謙豊が引退 本学で断髪式

東京農大相撲部出身で元幕下力士の謙豊三男さん（本名¹後藤謙太、平成23年初土俵）の引退断髪式披露パーティが1月31日、東京農大・世田谷キャンパス内で行われた。

時津風親方をはじめとする時津風部屋関係者や東京後援会、東京農大関係者、友人、ご家族ら150人を超える出席者が集まった。



断髪式で（はさみ）を入れる 江口学長

東京農業大学校友会 東京農業大学校友会

美りちゃん 学くん

編集後記

2月の全国支部長会議では、5ブロックの幹事支部から各地の活動が紹介された。青年部設立、地域に根ざした講演会、スポーツ応援や進学支援、LINEを活用した情報共有など具体的な取り組みが示され、校友会活動の広がりと課題が浮き彫りとなった。担い手不足や世代交代は支部共通の課題であり、今後の運営における重要な視点として共有したい。多くの校友が声援を送った箱根駅伝は、18位だったが、6区間で東京農大記録を更新。経営者フォーラムや親子三代表彰、学位記授与式を通じ、学生から卒業生までの活躍と母校との結びつきを実感した。（安達）

- 委員 豊原 秀和
（副会長・名誉教授）
委員 上岡 美保
（副会長・国際農畜学教授）
委員 秋山 聡子
（栄養科学科准教授）
委員 緒方 和彦
（法人本部総務人事部長）
委員 安達 哲司
（事務局局長）